

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※2	備 考 ※3	※4
北海道	はまとんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	カモ類 5万羽 〈9月中旬～4月下旬〉 ハクチョウ類 5千羽 〈10月中旬～4月下旬〉	カモ類 10,477羽、 コハクチョウ 1,631羽	※主に渡去の中継地 カモ類のピークは過ぎたも よう。10/30よりコハクチョウ が減少していたが、最近 再び増加。オウソ・オジロソ も見られるようになった。 (11/6現在)	北海道
	みやじまぬま 宮島沼 (美唄市)	マガソ 約5～6万羽 〈秋期9月下旬～10月下 旬、春期4月〉 他にマガソ等カモ類、 コハクチョウ等ハクチョウ類	カアソ 90羽、ミアソ 76羽、 マガソ 55羽、マガソ 53羽、 コガソ 45羽、カガソ 10羽	※主に渡去の中継地 コハクチョウ、オハクチョウ、ヒソイ などは、数羽から数十羽 が短期的に滞在。 (11/8現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハクチョウ類 〈10月上旬～4月下旬〉 ガンカモ類 〈9月中旬～4月上旬〉 オウソ、オジロソ	ガンカモ類 1,372羽、 ハクチョウ類 117羽	※主に渡去の中継地 カモ類の飛来数、最大250 羽確認。ハクチョウ、ガンカモ の渡り中継地として日々 飛来数が増える。オハクチョウ 飛来数、最大150羽確認。 (11/5現在)	
	とうふつこ 濤沸湖 (網走市、小清水町、 白鳥公園付近)	オハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オウソ、オジロソ	カモ類 25,316羽、 オハクチョウ 2,013羽	※主に渡去の中継地 カモ類はヒソイが中心。7 ソ類はカアソが中心。 (11/3現在)	
	ふうれんこ 風蓮湖 (根室市、別海町)	オハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オウソ、オジロソ	カモ類・オウソ 数未確認、 オハクチョウ 3,024羽	※主に渡去の中継地 オハクチョウは例年より早め の飛来。数は例年並。カモ は未カウント。 (11/3現在)	
	あつけし べかんべうし 厚岸・別寒辺牛・ 霧多布 (標茶町、厚岸町、 浜中町)	(厚岸湖側) オハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オウソ、オジロソ	オハクチョウ 5,300羽、 マガソ 5,000羽、 カモ類、ソ類 数未確認	※主に渡去の中継地 オハクチョウ、オハクチョウ などは増え方が例年より早 め。 (11/6現在)	
	(霧多布側) オハクチョウ、カモ類 〈10月～4月〉 オウソ、オジロソ	カモ類 6,000羽、 オハクチョウ 860羽	※主に渡去の中継地 カモ類の飛来数は昨年より 多い。カモ類はマガソが多 い。 (11/4現在)		
こみなと 小湊 (東津軽郡)	オハクチョウ、マガソ、 キンクロハジロ、ユリカモ	マガソ 650羽、 オハクチョウ 20羽	10月上旬よりマガソが 飛来。10月下旬よりオハク チョウが飛来。(11/11現在)	東北	

秋田県	大瀧草原 (大瀧村、男鹿市)	コガモ、マガモ等カモ類 コハクチョウ等ハクチョウ類 ヒシカイ、マガン 〈10月下旬～3月下旬〉	コガモ 1,300羽、 マガモ 35羽	9/16よりコガモ、マガモが飛来。10/16よりマガン、ヒシカイが飛来。10/24よりハクチョウ類が飛来。(11/9現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガン 3万羽 〈9月下旬～3月〉	ガン・カモ・ハクチョウ類 2,900羽	9/21よりマガンが飛来。現在越冬中。(11/7現在)	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オカガモ 2万羽、 ホシヅロ 2千羽、 キンクロヅロ 2千羽、 オハクチョウ 5千羽、 コハクチョウ 3千羽、 〈10月中旬～4月中旬〉	オカガモ 16,000羽、 オハクチョウ 3,400羽、 コハクチョウ 2,000羽、 カモ類 2,000羽	9/23よりオハクチョウ数羽が飛来。10/11よりハクチョウ個体群が飛来。(11/5現在)	
千葉県	谷津 (習志野市)	カモ類 4千羽 〈10月中旬～4月下旬〉 シギ・チドリ 2千羽 〈8月上旬～5月中旬〉	ガン・カモ類 795羽、 シギ・チドリ類 1,193羽	カモが増加傾向。シギ類の渡りはほぼ終了(ハマシギを除く)。(11/3現在)	関東
新潟県	佐潟 (新潟市)	マガモ、コガモ等カモ類 5千羽 〈10月上旬～3月下旬〉 コハクチョウ、オハクチョウ等 3千羽 〈11月上旬～2月下旬〉	ハクチョウ類 2,035羽、 マガモ 350羽、 コガモ 2,000羽、 その他カモ 40羽	ハクチョウ類の飛来数変化は微弱。カモ類は僅かに減少傾向。(11/6現在)	
石川県	片野鴨池 (加賀市)	ガン・カモ類 3千羽 〈9月上旬～4月中旬〉 コハクチョウ 4百羽 〈10月中旬～3月下旬〉	カモ類 500羽、 マガン 1,700羽、 コハクチョウ 200羽、 ヒシカイ 24羽	9月中旬より飛来開始。暖かいためか、カモの数が少ない。(11/4現在)	中部
愛知県	藤前干潟 (名古屋市)	カモ類 3千羽 〈9月下旬～5月初旬〉 シギ・チドリ類 〈8月初旬～5月中旬〉	スズガモ 4,500羽、 オカガモ 1,800羽、 コガモ 1,500羽、 ヒドリガモ 250羽、 ホシヅロ 270羽、 ハマシギ 1,200羽	10月中旬からホシヅロ、ヒドリガモが飛来。11月上旬よりまとまった数が飛来。スズガモは例年より多い。ハマシギは旅鳥としての飛来は激減。越冬数は例年並。(11/8現在)	
鳥取県・島根県	中海 (米子市、境港市、安来市、松江市)	カモ類 5万羽 〈10月上旬～4月末〉	ガン・カモ類 25,778羽、 コハクチョウ 320羽	渡りのピーク。(11/7現在)	中国・四国
島根県	宍道湖 (松江市、斐川町)	コハクチョウ 9百羽 マガン 3千羽 カモ類 5万羽 〈10月～5月〉	カモ類 10,400羽、 マガン 1,250羽、 コハクチョウ 495羽	潜水ガモが多い。マガンの中にコマガンが混じっていた。(11/9現在)	

福岡県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等カモ類、 ハマシギ等シギ類 1,000～ 1,500羽<10月下旬～3 月下旬>	カモ類 200羽	異常なし。(11/12現在)	九州
鹿児島県	いづみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マヅル等ヅル類 <10月～3月> ヒドリガモ、マガモ等カモ類 <10月～3月>	カモ類 2,600羽、 ナベヅル 9,000羽、 マヅル 100羽、 その他ヅル類 50羽	11年連続の万羽ヅル。 他異常なし。(11/12現在)	
宮崎県	きりしま みいけ 霧島<御池> (都城市、高原町)	マガモ等カモ類 <10月～4月>	マガモ 400羽、 ヒドリガモ 50羽、 カルガモ 30羽	例年飛来数の50%以上が 飛来している。異常なし。 (11/9現在)	
沖縄県	まんこ 漫湖 (那覇市、豊見城市)	ムナグロ、アカアシギ等のシギ ・チドリ類、カモ類 <冬期間>	シギ類 35羽、 サギ類 35羽、 チドリ類 41羽	渡来中。(11/8現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況をとりとまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。